

ぽぽデイだより NO.132 令和6年2月号

社会福祉法人 ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

施設長より

新聞やテレビでは、能登半島地震により亡くなられた方々やご家族の状況が連日報道されています。子どもや父や母が助けられずに目の前で亡くなる。自然災害の残酷さに深く胸を突かれます。こんなことは二度と起こって欲しくないのに、いつ起こるかわからない災害に備えよ、とのことです。

当法人が参加している西宮市地域自立支援協議会ほくが会では、このところずっと、「防災」をテーマに協議や活動をしています。1月28日は山口町にできたコープ神戸のふれあいセンターで防災イベントがありました。まだ、「防災を知る」イベントにとどまっていますが、もっと、子どもたちひとり一人の命を守る具体的な活動につなげていかなければと切実に思います。また、特性のある子の避難の困難さも言われています。これからの活動の中で、そのことも視野に入れて協議していきます。興味のある方はぜひご参加ください。

1月20日には、クアぽぽ地域交流室(旧ぽぽデイ東山台)で保護者交流会を開催しました。保護者の方の参加は2名と、非常に寂しい会になりました。これについては、広報の仕方が悪いことをご指摘いただきました。今後は、早めに紙のチラシを配布するなり、より確実にお手元に情報が届くようにいたします。当日は、名塩地区で「たんぽぽの会」という保護者会活動をされている井上敬子さんがご子息と一緒にゲスト参加してくださいました。会での主な話題は、放課後デイ卒業後のスポーツを続ける場について。作業所との往復以外に子どもが余暇でスポーツを続ける場が近くで欲しいが、個性に会う場が無い。作ろうとしても、保護者が一人で運営し続けることは難しいというもの。「たんぽぽの会」は名塩地区の地区社会福祉協議会(以下、地区社協)を母体に、障害のある方のフライングディスクなどのスポーツや交流会などの活動をされています。地区社協では保護者の活動を支援してくれるしくみがあるとのこと。生瀬から参加されている例もあり、地区を越えての参加もOKということですが、コロナ禍で活動を停止している間に参加者が減っているとのことでした。

東山台地区社協ではぽぽデイのOBの保護者さんが「つくしんぼの会」を運営されています。ここで改めて、先輩の話はとても参考になると思いました。それは、子どもがその年齢になったら悩むことは、みんな似ているということです。卒業後の進路、学校での悩み、親亡き後の子どもの生活。子どもさんの個性により悩みの内容は違いますが、その時々で情報を集めて決断したり、助けを求めたりされてきた経験談が生きた情報としてあります。今後もこのような会を続けていきたいとも思います。

巻きずしの昼食を食べた後は、宝塚のNPO、「ゴスペルプラザ」の出張ワークショップです。みんなで歌った後、かわいい絵馬づくりです。子どもたちの中から、思わず「楽しい～」と声がる会になりました。ところで、その場であったハプニングをこっそりお知らせすると、「ゴスペルプラザ」さんの歌の前に、ひと

りの子どもさんから、僕も歌いたいという申し出が……。始まる前にリハーサルをし、みんなの前で歌う緊張感と真剣に取り組む姿に、職員一同胸を突かれました。ここで育った子どもたち成長する姿を見るのは、本当に嬉しいことです。



絵馬作成中。青いエプロンがゴスペルプラザさん。



さて、2月6日には厚生労働省から、障害福祉サービスの報酬改定の内容が発表されました。放課後等デイサービスも児童発達支援もサービスに時間区分ができ、短時間の利用で運営されている事業所さんには厳しい内容になったとのことですが、当事業所には、少し報酬が上がる朗報になりました。この事業は経営的センスを迫られる難しい事業であることを痛感していますが、私たちは、社会福祉法人の使命として利用者みなさんのニーズに応えることと、存続することのバランスを取りながら、地域の福祉に貢献することを第一義に、運営してまいります。

児童発達支援 🍓 いちご組

これまでに、朝の会やおわりの会で一緒に楽しんだ絵本で『えほんかるた』をしてあそびました。10～15冊の絵本が登場しました。1冊1冊紹介しながら並べていくと、お子様たちから絵本の名前や登場する人物や物の名前がたくさん出てきました。そして、かるたあそびが始まります。職員が絵本の名前を伝え、探して、手を伸ばして獲得されます。お気に入りの絵本を獲得できて嬉しい表情、友だちの様子をみて、『取っていいのかな』と迷われる表情、手にされた絵本をじっくりと読み込まれる姿、色々な姿・表情を見せてもらった楽しいあそびになったと感じます。

引き続き、簡単なルールの設定でのゲームあそびや友だちとのやり取りあそび、音楽に合わせてあそぶサーキットあそびや体操あそびを楽しんでいきたいと思えます。

放課後等デイサービス

吹き抜ける風が冷たく、屋外はまだまだ寒い季節ですが、ぼぼデイには変わらず子どもたちの元気な声が響き渡っています。

1月18日に行った地震の避難訓練。あいにくの雨で予定をしていた塩瀬支所まで行くことができず、玄関までの訓練となってしまいました。

その後室内に戻り、防災についてみんなで話し合いました。阪神大震災を実際に体験した職員の貴重な話をじっくり聞いた後は、子どもたちからの思いもよらなかった積極的な発信が続きました。次々と手を挙げ、前に立って非常食や必要な常備品を描いた絵を見せて、日々の備えの大切さを伝えてくれました。また、別のお子さんからの提案で、元日に起こった能登半島地震の犠牲者に黙とうを捧げました。

連日続いていた報道を受けて、一人ひとりの防災意識が高まっていたこと、伝えたいことを堂々とみんなの前で発表してくれた中高生と、そんな上級生の姿を見てしっかりと聞き留めていた小学生がいたこと、それぞれの思いが重なりみんなで作り上げた予定以上の素晴らしい訓練となったことを嬉しく思います。

【避難訓練をしました。】

地震を想定した避難訓練をしました。

いつもと違う流れに不安になったお子様もいましたが、事前に絵などで伝えて、何が始まるのかを知ってから始めました。頭を守る行動を大人と一緒にした後、外へ避難し、避難場所の塩瀬センターまで歩きました。少し遠かったですが、みんなで行くことができました。帰りは消防署で消防車バギーに乗ってみんなで笑顔で帰ることができました。



スタッフの一言

新年早々能登半島地震、、、とても心が痛みます。先日ぽぽデイで地震の避難訓練をしました。「黙とうしましょう」「避難グッズをそろえましょう」スーパーで見かけた募金箱をイメージし、作成するなど子どもたちが心に感じたことを発表してくださったり、行動してくださったり、、、有意義な時間となりました。

中山

ある日斜行エレベーターを待っていると、学校帰りの小学1年生くらいの子どもたちが3人来て、列には並ばず遊んでいます。エレベーターが来ると、女の子が「来た」と言って乗ろうとすると、男の子が「順番」と言って女の子を止めました。その姿に思わず、イイネを連打した素敵な光景でした。

笹川